



天正15年(1587)黒田官兵衛は豊臣秀吉より豊前六郡十二万石を拝領し、馬ヶ岳城に入りました。城井谷を拠点として、それに敢然と立ち向かったのが、四百年にわたりこの一帯を治めてきた宇都宮氏の最後の当主鎮房



ゆくはし官兵衛くん

(しげふさ)でした。京築地域には黒田官兵衛や宇都宮鎮房、官兵衛の家臣後藤又兵衛の史跡や遺品が数多く残されています。



後藤又兵衛の槍

80



NIPPON 80



後藤又兵衛の床足膳(西福寺所蔵)

NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80

城井谷絵図

- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

